



2月号の主な掲載記事

- ☑令和4年成人式 P. 2
- ☑涌谷町会計年度任用職員候補者
名簿への登録者を募集 P. 11
- ☑所得相談が始まります P. 12

晴れ渡る空がたたえる
晴れ着姿とはじける笑顔

祝

令和4年涌谷町成人式

～コロナ禍であっても
希望を見出す新成人～



令和4年1月9日(日)に、涌谷公民館で令和4年涌谷町成人式が開かれました。長引く新型コロナウイルス感染症によって、大切な青春時代にさまざまな制限を余儀なくされてきた新成人。コロナ禍後を見据えた新たな時代の開拓者としての決意と希望を瞳に宿し、晴れの門出に臨みました。



例年に比べて雪が多い令和4年の新春。朝のうちは、晴れや曇り、小雨が目まぐるしく入れ替わりながらも、開式頃には、新成人の門出を祝うかのように、穏やかな天候となった成人式。

この日、涌谷町で新成人となったのは、平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた185人。新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、130人(男性71人・女性59人)が出席しました。

二十歳の抱負



あら 荒 ななみ さん
(5の2区)



涌谷中学校卒業式の荒さん

成人式にあたり、新成人代表の2人が壇上で発表した二十歳の抱負を要約して紹介します。



こうだ しゅうや 甲田 柁也 さん
(下郡区)



涌谷中学校卒業式の甲田さん

式典開始前の10時頃から、華やかな振り袖や凛々しいスーツなどで身を包んだ新成人がぞくぞくと集まりだし、あちこちから久しぶりの再会を喜ぶ歓声が沸き起こっていました。

今回も新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、出席者を制限するとともに、当日、会場に來られなかった新成人や保護者向けにインターネット上で式典の様子をライブ配信しました。また、後日、式典の様子を記念映像として編集し新成人に配信します。

私たちは、約2年前、新型コロナウイルス感染症という未知の恐怖にさらされることとなりました。厳しい行動制限が続き、いつでも会えると思っていた友人に会えない日々が続いたことで、強い孤独感を覚えたのは私だけではなかったのではないかと思います。それと同時に、会いたい時に会いたい人に会えることがどんなに幸せなことであつたかを痛感する大きなきつかけともなりました。また、このように大きな脅威にさらされているから、自分が何もできないことに無力感を感じる毎日を過ごしてまいりました。

私は現在、医療従事者を目指し日々勉強に励んでおります。実習においては、コロナ禍で家族との面会が制限され、孤独や病魔と戦いながら懸命に生きようとする患者さまの姿を目の当たりにし、言葉にできない思いで胸がいっぱいになりました。今この場にいる一人一人の立場は異なりますが、この時代を経験しているからこそ、それぞれが人の痛みを知り、寄り添うことのできる人間になれるのではないかと私は思います。

20歳という大きな節目を迎える私たちは、これまでお世話になった方々や思い出の話まった涌谷町へどのように恩返しをしていくべきかしっかりと考え行動していかなければなりません。社会の一員として大きな責任を背負っていることを忘れず、夢に向かって一歩ずつ確実に歩んでまいります。

私は現在、宮城教育大学で教員を目指し、日々努力しています。教員というのは子どもたちの将来に大きな影響を及ぼす職業と考えています。これからの社会に出ていく子どもたちの成長を促すと同時に自分も成長していかなければなりません。私が教員を志したきっかけは皆さんと過ごした中学時代にあります。とある先生は言いました。「勉強は世界を広げるためにあるのだ」と。聞いた当時は気にかけてはいませんでした。しかし、中学校を卒業する時になって分かりました。自分の見えているもの、感じている事が前よりも違う角度から見えたり、説明できたりしたのです。その瞬間に私も同じようにこのようなことを伝えたいと強く感じました。大学生となった今、その思いはより強くなりました。学習のみならず、人との付き合い方や、礼儀やマナー、たくさんを知っていくにつれて世界は広がっています。私たちのこれから知っていく世界は輝かしいものばかりではありません。辛苦を伴うもの、理不尽が伴うもの、もう何もかもやめてしまいたいと思わせるものもあるでしょう。しかし、そのようなことも乗り越えていかねばならないのです。勇気を持って立ち向かってほしいし、逃げてもいいのです。逃げるという選択肢がないとは思わなくていいと私は考えています。遠回りをしたっていい。自分たちなりにこの世界をうまく生きていきましょ。





②



①

《写真解説》

- ① 恩師を交えて記念撮影
- ② 久しぶりの再会で思い出話に花が咲く
- ③ コロナ禍に耐え続ける教え子にかけられる恩師からの温かい励ましの言葉
- ④ 恩師の言葉に成長した表情で真摯に耳を傾ける新成人
- ⑤ 声は出さずとも思いは一つにしてこぼれる笑顔



④



③

恩師との再会と激励

今年の新成人は、中学1年生で旧籠岳中学校と旧涌谷中学校の閉校を、2年生で新生涌谷中学校としての統合と1期生の送り出しを経験。3年生では2期生として新生涌谷中学校の2歩目を引き継ぎ、新たな伝統を築きながら思いを一つにしていきました。

そのような激動の中学校生活を共に過ごした恩師6人が出席。3年1組の担任を務めていた鈴木美沙子教諭は、「この日を5年間待っていました。また5年後会おうねと約束をして迎えた卒業式の記憶が昨日のことのように思い出されます。みんなと必死になって走り抜けた中学校の3年間で今でも覚えています。あの3年間があったので今も頑張り続けていられます。みんなにまた会おうんだと思いつながら、途中苦しいこともいっぱいあったけれど、乗り越えてくれました。きっとみんなも感染症のことで悔しい思いをしてきたでしょうけれど、だからこそ、気づけたことがいっぱいあったと思います。苦しい思いや悔しい思いを



⑤

したからこそできる大人としての振る舞いや考えやアイデアを実行していったらいい。みんなの活躍を心から祈っています。ぜひまた会いましょう」とはなむけの言葉を贈りました。

式典終了後には、恩師を囲み、記念撮影が行われました。感染拡大に配慮しながら、大人になったきりっとした表情で記念撮影のひと時を楽しみました。



新成人の決意

～新成人代表が答える新成人としての思いを一問一答～

Q.1 これからの涌谷町のため、私は●●●●がしたい。

A.1 教員になって恩返ししたい。

回答者：甲田柊也さん(写真右下)

Q.2 これからの涌谷町のため、私は●●●●がしたい。

A.2 後輩が住みやすい町にしたい。

回答者：伊藤将輝さん(写真左上)

Q.3 今の夢は？

A.3 建築関係の仕事や都市開発に携わりたい。

回答者：皆川菜摘さん(写真左上)

Q.4 今の夢は？

A.4 カッコいい大人になる。お世話になった人に恩返しできるよう頑張る。

回答者：荒ななみさん(写真右上)



《写真解説》

⑥大人の風格を醸し出すスーツ姿で颯爽と⑦城山の金さんと記念撮影⑧振り袖が式場を華やかな雰囲気⑨涌谷中学校バスケット部が集合⑩式場のあちこちで見られた記念撮影風景⑪晴れ着とともに大人の気品も身に付け記念撮影



長いトンネルの先に見える
希望の光を目指して

令和4年涌谷町成人式は、新型コロナウイルス感染症の第6波の入り口で開かれました。

自然災害や感染症の影響で先行きが不透明な現代ですが、激動の中学校時代に何事にも挑戦して絆を深めていった経験を糧にすることで、共に支え合い、生きてきた仲間や家族とともにこの苦境を乗り越えていけるはずです。

そして、新時代を切り開いていくために、新成人の皆さんが培い、磨き上げている知識や技術をふるさと涌谷町に、力添えいただけますと幸いです。

また、豊かな自然と全国に誇る歴史を持ったふるさと・涌谷町で生まれ育ったことを誇りに、活躍されることを心から祈念します。



涌谷高校美術部として3年連続最優秀賞の快挙 千葉凜夏さんが最優秀賞を受賞

第74回宮城県高等学校美術展のポスター部門で、涌谷高等学校2年生の千葉凜夏さんが、年に1作品しか選ばれない最高賞の最優秀賞を受賞しました。

1人だけが総合文化祭に選出される県大会での美術部員の戦いを、絵筆を持ち対峙する高校生の姿で表現されています。この作品は、令和4年2月4日(金)から開催される第74回宮城県高等学校美術展のポスター原画として使用され、宮城県内の高等学校や宮城県美術館に掲示されています。



日本善行会から表彰状 涌谷町HAMクラブと黄金自治会が受賞

令和3年11月26日(金)に、涌谷町HAMクラブと黄金自治会が一般社団法人日本善行会から長年にわたり公共生活の進展に奉仕し明るく住みよい社会環境づくりに尽力されたとして表彰されました。

涌谷町HAMクラブは大規模災害などで行政が通信手段を失った際の支援活動を行い、黄金自治会は黄金地区や黄金山神社などの環境美化活動をしてきました。今後も住みよい涌谷町のまちづくりへのご協力をお願いします。



交通死亡事故ゼロの日が2年間を達成 宮城県警察本部長から讃辞を伝達

令和3年12月22日(水)に、涌谷町では交通死亡事故ゼロ2年間の記録を達成したとして、宮城県警察本部長から讃辞が伝達されました。

なお、令和3年に涌谷町内で発生した人身事故は15件(前年比-4件)、物損事故は296件(前年比+22件)、負傷者数は23人(+3人)となっています。

令和4年も交通死亡事故を発生させない涌谷町であり続けられるよう、皆さまの交通安全をお願いします。



コロナ禍のため規模を縮小して実施 涌谷町消防団出初め式を挙行

令和4年1月16日(日)に、涌谷公民館で涌谷町消防団の出初め式が開かれました。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため規模を縮小し、幹部と辞令・表彰の対象者のみが参加しました。式では、新入団員への辞令交付と国・県などからの表彰伝達が行われました。

なお、令和3年に涌谷町内では6件(前年比+3件)の火災が発生し増加傾向なことを受け、参加者一同で令和4年の無火災・無災害を祈念しました。



宮城県にコーンベルトをつくりあげよう 子実用とうもろこし生産拡大セミナー開催

令和3年12月15日(水)に、東北農政局と宮城県美里農業改良普及センター、涌谷町が共催で、近年の米価下落によって注目されている転作作物の子実用とうもろこしにかかわる生産拡大セミナーが開催されました。宮城県内各地から当初の想定を上回る生産者が出席し、農研機構東北農業研究センターの篠遠善哉^{しのとおよしや}研究員による子実用とうもろこしの栽培方法や転作作物としての有用性などにかかわる講演に耳を傾けていました。



食文化を通じて異文化理解を深める 涌谷町国際化協会が韓国料理教室を開催

令和3年11月28日(日)に、涌谷町国際化協会が主催する韓国料理教室が開催されました。コロナ禍で海外旅行が自由にできない今、食を通じ異文化理解を深めることを目的に、韓国の家庭料理「チヂミ」作りを行いました。また、「チヂミ」の他に、祝いの席で食べる伝統のモチ「シリット」や大根のナムルの作り方が紹介され、参加者は作り方に興味深く聞き入りながら、久しぶりの国際交流事業を大いに楽しんでいました。



子育て支援サークル・おひさまスマイル活動報告 迎春！しめ飾り作りを開催

12月14日(火)に、ハーブクラフトビオラの松ヶ根先生に講師をしていただき『迎春！しめ飾り作り』を開催しました。色とりどりのドライフラワーやドライフルーツなどさまざまな花材から自分好みのパーツを選び作成。創作中、参加者の皆さんはときおり無言になる程、夢中になり、しめ飾り作りを楽しみました。縁起の良い花材を使った個性あふれる華やかで和モダンなしめ飾りができあがりしました。

遠藤 稔 町長コラム

消防団

1月16日、涌谷町消防団出初め式が2年ぶりに挙行された。消防団には地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割がある。報酬も手当も少ないが、「自らの地域は自らが守る」という強い使命感が活動の原動力となっている。

団員の方達はそれぞれに立場があり、皆忙しい。だからこそ強い仲間意識が育まれ、お互いへの敬意が生まれる。その敬意を表すのが挙手敬礼である。今年の出初め式でも美しい敬礼が飛び交い、感動を覚えた。

《遠藤 稔 町長の公務(12月16日～1月15日)》

- 12月17日(金) 米価下落対策説明会 (町内)
- 12月23日(木) 死亡事故ゼロ2年間達成宮城県警察
本部長讃辞伝達式 (役場)
- 12月27日(月) 涌谷地域農業再生協議会臨時総会 (町内)
- 1月 4日(火) 交通安全指導隊出初式 (役場)
- 1月 7日(金) 涌谷町議会定例会1月会議 (役場)
- 1月 9日(日) 涌谷町成人式 (涌谷公民館)
- 1月11日(火) 遠田商工会安全祈願祭 (町内)